



認定こども園 おとぎのくに 新園舎

2月29日に、おとぎのくにの新園舎が完成し、4月5日には新園舎で入園式が行われました。

今月号では、おとぎのくにの建物内部をご紹介します。

明るく開放感あふれるホール



ホール

新園舎のホールは、高い天井が生み出す開放感と、白を基調とした明るい内装に色とりどりの梁がアクセントとなり、魅力的で心地よい雰囲気を醸し出しています。立派なステージや照明などの設備が整っており、文化祭への期待も高まります。



自由に広々遊べるホール

広く生活空間を分けられる保育室

太美地区の子育て世帯転入者数の増加に対応し、待機児童を出さないために、0～1歳児が使用する乳児室・ほふく室の面積を拡大、2～5歳児室はそれぞれ最大二部屋にすることで園全体の認可定員は50人増に。

保育室は、可動間仕切りによって二部屋に分けて使うこともでき、製作やお絵描きなど静的な遊びと音楽に合わせて身体を動かすリトミックや体操、けん玉など動的な遊びをする空間へと分けることができます。



ほふく室



静的な遊び



動的な遊び

非在園児の子育てニーズにも対応



おとぎキッズ利用者のようす

0歳児から小学校就学前までの親子が自由に集い、気軽に交流が楽しめる、親と子のふれあいの場「地域子育て支援事業所(おとぎキッズ)」は、乳児室・ほふく室と隣接。在園児との交流や園の行事、イベントへの参加がしやすくなり、入園前からスムーズに園に溶け込むことができます。

2階には、急病や入院、育児疲れなど、家庭での保育ができない非在園の親子を対象とした「一時預かり室」を備え、緊急的な保育にも対応しています。



おとぎキッズ (外部)



おとぎキッズ (内部)



一時預かり室 (外部)

調理風景が廊下から見える調理室



調理室



楽しみな給食時間

調理室はガラス張りになっているため、園児たちは廊下から給食の作られる様子を見ることができるようになりました。美味しい給食の時間がより楽しみに。

心を落ち着けられるデン

英語で巣や洞穴を意味する隠れ家のような小空間「デン」が、1階と2階それぞれに設けられています。仕切られた空間は園児たちを落ち着かせ、本を読んだり友達とお話しをしたりと、リラックスする場にも遊び場にもなり、自由に過ごすことができる大人気のスペースです。



2階階段横のデン



小窓から覗いたデンの中

1階玄関前のデン

地下水熱を活用した省エネルギーな冷暖房



床暖房で足元から暖か

冷暖房システムは、地中熱ヒートポンプシステムを用いて地下水熱を活用しています。太美地区の地下水温は周辺地域よりも高いため、従来の灯油ボイラーやエアコンと比べて、半分以上のエネルギーで冷暖房を運用できます。

さらに、1階の教室には床暖房が完備されているため、暖気が2階へ上がることで、園舎全体を暖かく保つことができ、快適に過ごせる環境となっています。

さくらい はるか
櫻井 遥さん



おとぎのくに
保育教諭



よしの あや
吉野 彩さん



地元の保育現場を支える
同級生コンビ

ここに書ききれないエピソードや写真は
当別町ホームページ「現代を生きる+」
でご覧ください。



今回は、認定こども園おとぎのくにで保育教諭として勤務している太美町出身の櫻井遥さん、吉野彩さんにお話を伺いました。

保育教諭を目指したきっかけ

櫻井 中学生のときに、職業体験学習でふとみ保育所を選びました。知らない人がやってきてはしゃぎ回る園児たちに囲まれた状況で、先生がピアノを弾いて声をかけた瞬間にそれまでの賑やかさが嘘のように静かになり、先生の話聞く様子を見て、魔法のようだと言われました。それ以来、その出来事がずっと頭にあり、進学先を選ぶときに保育教諭を目指す決意をしました。

吉野 子育てには様々な人の助けや子どもの成長をわかってくれる存在がなくてはならないものだと自分の子育てを通じて経験したことから、自分も保育に携わり、子育てをする人たちを助けたいと思いました。地元である太美のおとぎのくにで保育補助として働きながら、3年間通信で勉強をして保育教諭の資格を取得しました。

成長を支える日々

櫻井 1年間の中で子どもたちが困ったときにどう背中を押すべきか、くじけたときにどう励ますべきか日々試行錯誤しています。年度の終わりに近づくと、初めの頃と比べて心身ともに大きくなり、できることが増え、子どもたちの成長を感じる瞬間がたくさんあり、やりがいを感じます。卒園式は感動して泣いてしまいますね。

吉野 成長が著しい時期の子どもたちに関わるのはとてもエネルギーが必要ですが、時間をかけて準備したものに対して、キラキラと目を輝かせて「先生楽しかった！またやりたい！」と子どもたちが言ってくると、頑張りが報われて私のパワーになります。

お互いどんな存在

櫻井 吉野先生は、体を使った遊びで子どもたちを盛り上げるのがとても上手です。また、私には思いつかない芸術的なアイデアが豊富にあります。一味違った提案でも、長い付き合いなこともあり、

なんでも任せられます。

吉野 櫻井先生は、私よりもキャリアが長く、様々な経験を積んでいるのでどんなことでも相談ができますし、アドバイスも的確です。小・中学校の同級生ということもあり、とても頼もしい存在でいつも助けられています。

新園舎の良いところ

櫻井 教室を広く使えるので、のびのび過ごせる場所、座って何かする場所、食べる場所と生活空間を分けられます。子どもたちが落ち着ける場所を見つけやすい環境になりました。普段の生活も今後行われるイベントも楽しみです。

吉野 感情のコントロールが上手くいかずに困っている子ども、デンに入ると気持ちを落ち着けられます。また、空間が仕切られているので、デンの中で読み聞かせをすると子どもたちがグッと本の世界観に入り込み、心から楽しんで聞いていると感じます。この素敵な新園舎で、子どもたちと一緒に成長していきたいです。